

●手賀沼水面鳥類センサス結果

調査日:2011年9月14日、10月21日、11月18日(9:00~13:00)

科名	種名	個体数(9月)	(10月)	(11月)	
カイツブリ科	カイツブリ	17	35	31	
	ハジロカイツブリ	0	0	10	
	カンムリカイツブリ	0	2	36	
ウ科	カワウ	134	200	105	
サギ科	ゴイサギ	1	0	0	
	ダイサギ	31	11	9	
	チュウサギ	1	7	0	
	コサギ	20	17	24	
	アオサギ	11	25	9	
カモ科	コブハクチョウ	21	18	23	
	マガモ	0	8	34	
	カルガモ	40	121	182	
	コガモ	0	52	130	
	オカヨシガモ	0	0	4	
	ヒドリガモ	0	1	13	
	オナガガモ	0	87	200	
	ハシビロガモ	0	0	2	
	キンクロハジロ	0	1	1	
	ミコアイサ	0	0	1	
	タカ科	ミサゴ	0	1	0
	オオタカ	0	0	1	
ハヤブサ科	ハヤブサ	0	0	1	
クイナ科	バン	0	1	0	
	オオバン	10	30	62	
シギ科	イソシギ	0	0	2	
	タシギ	0	3	0	
セイタカシギ科	セイタカシギ	3	0	0	
カモメ科	ユリカモメ	0	15	125	
	セグロカモメ	0	3	4	
カワセミ科	カワセミ	2	2	3	
ツバメ科	ツバメ	1	0	0	
カラス科	ハシボソガラス	17	3	4	
	ハシブトガラス	0	1	0	
	バリケン	0	2	4	
家禽や外来種	アヒル	3	1	0	
	ドバト	8	33	0	
合計		36種	320	680	1020

●岡発戸の谷津田鳥類センサス結果

調査日:2011年9月28日、10月27日、11月24日(9:00~12:00)

科名	種名	個体数(9月)	(10月)	(11月)	
サギ科	チュウサギ	1	0	0	
タカ科	トビ	0	1	0	
ハヤブサ科	ハヤブサ	0	0	1	
キジ科	キジ	1	1	1	
ハト科	キジバト	5	0	2	
キツツキ科	コゲラ	0	1	2	
	キセキレイ	0	2	2	
	ハクセキレイ	4	3	1	
	セグロセキレイ	3	2	4	
ヒヨドリ科	ヒヨドリ	5	48	81	
モズ科	モズ	4	4	2	
ヒタキ科	ジョウビタキ	0	0	2	
	種不明	0	1	1	
ツグミ科	ツグミ	0	0	2	
	種不明	0	0	1	
ウグイス科	ウグイス	0	1	13	
エナガ科	エナガ	0	22	7	
シジュウカラ科	シジュウカラ	2	3	7	
メジロ科	メジロ	0	8	14	
	カシラダカ	0	0	1	
ホオジロ科	ホオジロ	7	3	13	
	アオジ	0	9	14	
アトリ科	カワラヒワ	0	8	2	
ハタオリドリ科	スズメ	5	28	59	
ムクドリ科	ムクドリ	0	0	0	
カラス科	カケス	0	1	1	
	ハシボソガラス	1	2	20	
	ハシブトガラス	14	8	4	
合計		28種	52	156	257

あびこ鳥だより

Winter
2012
【冬号】

ABIKO BIRD MUSEUM LETTER Vol.28

<目次>

- 特集ページ・・・・・・・・・・ 2
我孫子のフクロウのえさ事情
- 最新情報・・・・・・・・・・ 3
2月より新企画展「日本の鳥展」がスタート
鳥博セミナー「カラスはどれほど賢いか」
谷津田観察会で春を探しませんか?
- イベント情報・・・・・・・・・・ 3
- 我孫子市鳥類調査結果・・ 4



利用案内

- 開館時間 午前9時30分～午後4時30分
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)
館内整理日、年末年始(12/29~31、1/1~4)
- 入館料

区分	個人	団体(20名以上)
一般	300円	240円
高校生、大学生	200円	160円
小・中学生	100円	80円

*以下の方は入館料が免除されます
①70歳以上の方 ②障害者手帳をお持ちの方(付き添い1名含む)

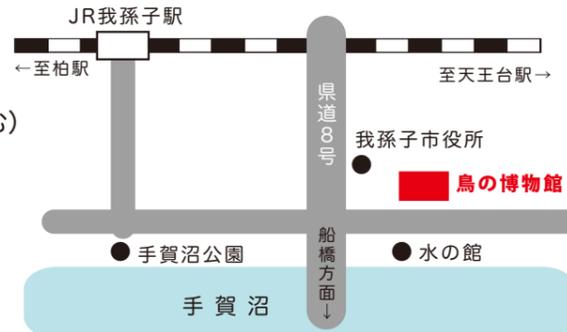
●お問い合わせ：我孫子市鳥の博物館

〒270-1145 千葉県我孫子市高野山 234-3
☎: 04-7185-2212 FAX:04-7185-0639
ホームページ: <http://www.bird-mus.abiko.chiba.jp/>

交通案内

- 電車とバス利用
JR 我孫子駅下車、我孫子駅南口バス停より市役所経由
バスで「市役所」下車、徒歩5分
*毎週土日祝日は博物館行きのバスが運行しています
我孫子駅南口バス停より、天王台行きバスで「鳥の博物館」下車
天王台駅南口バス停より、我孫子駅行きバスで「鳥の博物館」下車

- 自動車利用の方は地図をご覧ください(駐車場あり)



表紙の鳥 シメ
写真提供 川上 貢さん

「我孫子のフクロウのえさ事情」

鳥の博物館では、毎年、我孫子市内で繁殖しているフクロウの巣箱にカメラを取り付けて、子育てやヒナの成長の様子を観察しています。3～5月の繁殖期になると、来館者の皆さんに中継した映像をご覧いただきながら、フクロウの子育てについて解説しています。

フクロウの解説の中で、来館者の方が興味を持たれる一つにフクロウの餌動物があります。主にネズミのような小型の哺乳類を食べますが、営巣する環境によって餌動物は変化します。我孫子のフクロウは一体どんな動物を食べているのでしょうか。2011年の繁殖期に巣箱に運ばれた餌動物をとらえて、我孫子のフクロウのえさ事情を調べてみました。



2011年のフクロウの子育て

我孫子市は斜面が多く、高台にある住宅地から斜面林、畑や水田、手賀沼と環境が連続的に変化しています。巣箱がある場所は斜面林で周りには住宅地や畑があります。2011年は3月15日から抱卵行動が見られ、約1ヶ月後の4月16日に1羽目、4月17日に2羽目の孵化が確認されました。フクロウの一回の抱卵時間は長いといわれ、今回の観察では最長で約45時間の抱卵が確認されました。抱卵はメスが行い、その間オスがメスに餌を運びますが、ほとんどがメスを外に呼び出して餌を渡します。メスが巣箱を離れる時間は短く、観察していると餌の受け渡しは日の出前、日没後近くに多く見られました。

ヒナの孵化後しばらくはメスが巣箱内にとどまり、ヒナの世話をしますが、ヒナが体温調節できるようになると、メスも外に出て餌を探すようになります。抱卵を確認してから約2ヶ月後の5月19日に2羽とも無事巣立ちました。



給餌の様子 (①ヤモリ ②アカネズミ ③ヒヨドリ ④ツバメ)

親鳥がヒナに与えた餌動物の内容

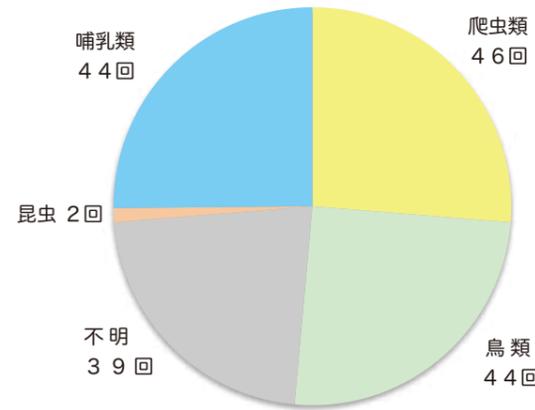
ヒナの孵化確認から巣立ちまでに合計175回の給餌が観察されました。1日の給餌回数は日によって異なり、最も少ない日で1回、最も多い日で17回でした。餌動物には小型の爬虫類、哺乳類、鳥類がほぼ同じ回数運ばれていました(右図)。哺乳類はアカネズミやハツカネズミ、ドブネズミなどが運ばれ、爬虫類はヤモリが特に多く運ばれていました。鳥類はメジロのような小型の鳥からキジバドほどの比較的大きな鳥まで運ばれていました。不明なものには小さすぎてカメラで同定できなかったものが主に含まれています。

餌動物のうちの半分近くが爬虫類と鳥類で占められていました。ヤモリは主に人家周辺に生息することや市街地に生息するフクロウの餌動物には鳥類が多いといわれることから、観察したフクロウは市街地周辺で餌を探すことが多いと考えられます。またヤモリは地面よりも垂直な場所を移動することが多いので、木の幹のような自然環境だけでなく、建物の壁のような人工的な場所で狩りをしているかもしれません。

巣箱に残った餌動物の骨の分析

巣箱にはたくさんの餌動物が運ばれましたが、親鳥は食べ残しやヒナの糞などを食べて掃除するため、すべての餌動物のペリット(不消化物を固まりにして吐き出した物)や骨や羽毛が残るわけではありません。ヒナの巣立ち後、巣箱に残った餌動物の骨を回収して調べてみると、鳥類の骨が最も多く見つかりました。ネズミの骨は主に消化されにくい頭骨や腕、脚の骨などが見つかり、それに対し小さく消化されやすい小型の爬虫類の骨はほとんど見つかりませんでした。

鳥類は羽軸や嘴など堅い部分があり、ヒナが丸呑みすることが難しいので、親鳥が肉をちぎって与えることが多く、バラバラになった骨が残りが多かったと考えられます。ヒナはある程度成長すると、ほとんどの餌動物を丸呑みにしていましたが、鳥類は巣立ちが近くなっても親鳥が巣箱に入り、ちぎって与えている様子が観察されています。



巣箱に運ばれた餌動物の内訳



繁殖中の巣箱の様子 (鳥類の羽毛が散らばっている)

引用・参考文献：渡辺 央 1989. フクロウの繁殖生態. 長岡市立科学博物館調査研究報告, 24: 55-66
Del Hoyo, J et al. 1999 Handbook of the Birds of the World, vol.5, Lynx Edicions.
石川勉ほか 2007. フクロウ その生態と行動の神秘を解き明かす. 文一総合出版.

最新情報

新企画展「日本の鳥展」がスタートします

鳥の博物館では日本に生息する鳥類すべてのはく製標本をそろえ、有効に利用していただくことを目的に、資料の収集と管理を行っています。今回の企画展は、いいかえれば鳥の博物館の収蔵コレクション展です。できるだけたくさんの日本産鳥類の標本を多くの方に見ていただくために、半常設として展示します。まるで博物館の収蔵庫をのぞいているような空間にぜひ遊びにきてみませんか？

展示期間：平成24年2/11(土)～平成24年11/25(日)



過去の日本の鳥展の様子

鳥博セミナー「カラスはどれほど賢いの？」に参加しませんか？

私たちの身近な鳥のひとつであるカラスがテーマです。今回はカラスの学習能力、記憶力、識別能力の解明をはじめ、様々な生理的研究をされている杉田昭栄さんにお話をさせていただきます。

開催日：平成24年2/18(土) 13:30～15:00 (定員50名)

*講師：杉田 昭栄さん(宇都宮大学農学部教授)

*参加希望の方は申込みが必要です。詳しくはイベント情報をご覧ください



ハシブトガラス

谷津田観察会で春を見つけませんか？

春の日に、昔ながらの田園風景が残る我孫子市の谷津田で野鳥や植物、昆虫を観察します。ウグイスやシジュウカラのさえずり、スミシの花など春を感じさせる生物と一緒に探しませんか？

開催日 3/20(火・祝) 9:00～12:00 (定員40名)

*参加希望の方は申込みが必要です。詳しくはイベント情報をご覧ください



アオイスミレ

エナガ

イベント情報

●自然観察会

○てがたん～手賀沼定例探鳥会～

時間：10:00～12:00

集合場所：博物館玄関 (予約不要)

1月14日(土) 「冬鳥観察」

2月11日(土) 「冬芽の観察」

3月10日(土) 「食べられる植物」

○春の谷津田観察会

日時：3月20日(火・祝) 9:00～12:00

集合場所：JR 東我孫子駅前 (予約必要)

定員：40名

申込み：受付開始は3月1日より

詳細は広報あびこ3月1日号、鳥の博物館ホームページをご覧ください

●館内イベント

○新春イベント～連鶴を折ろう～

日時：1月5日(木)、1月6日(金)

場所：博物館多目的ホール (参加無料・予約不要)

定員：なし

●講演・座談会

○鳥博セミナー

日時：2月18日(土) 13:30～15:00

場所：鳥の博物館多目的ホール (参加無料・予約必要)

定員：50名

講師：杉田昭栄さん(宇都宮大学農学部教授)

申込み：2月1日より受付開始

詳細は広報あびこ2月1日号、または鳥の博物館ホームページをご覧ください

○テーマトーク

時間：毎月第2土曜日 13:15～14:00

場所：博物館友の会ルーム (参加無料・要整理券)

講師：山階鳥類研究所研究

2012年1月～3月

*館内イベントは参加無料でも入館料が必要です

*自然観察会は高校生以上の方は保険料100円が必要です